

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.24
平成24年12月17日

読み聞かせありがとうございました

12月7日（金）、5・6年生を対象に、読み聞かせグループ「たんぽぽ」による、恒例の読み聞かせをしていただきました。たんぽぽの代表の方から、「どの学年も素晴らしい態度で、心で聞いてくださいました」と、お褒めの言葉を頂戴しました。ありがとうございました。

読み聞かせの効果・効力については、様々なところで報告がなされています。アメリカでベストセラーとなった『読み聞かせハンドブック』（The Read-Aloud Handbook）を著したトレリスは、「読み聞かせは、子どもの興味、情緒的発達、想像力、言語能力を刺激する。そして、人間の声は、子どもの精神状態を落ち着かせるための最も強力な道具である」としています。

また、様々な心理学的研究が、読み聞かせが子どもの創造力を育くみ、言語能力を高め、人間関係を豊かにすることを報告しています。

本校では、全校一斉に「朝の読書活動」を実践しています。低学年では、担任による読み聞かせを行っているクラスもあります。絵本の読み聞かせは、先生が文章を朗読し、児童が絵を見ながら大人の音読を聞く、という独特のコミュニケーションスタイルを持っています。読み手（先生）と聞き手（児童）が共にいて、絵本という世界の中で、喜びの時間と空間を共有し、分かち合うことが出来るのが読み聞かせであるとも言えます。

読書活動の一環として、読み聞かせを大切にしていきたいと考えます。

全校朝礼の話より（12／10）

2学期も今週と来週で終わりです。今の時期は、2学期のまとめの時期・ふり返りの時期です。「できるようになったことや頑張ったことは何かな。嬉しかったことや楽しかったことは何かな。まだ、足りないことは何かな。2学期始めに立てた目標は、どこまでできるようになったかな。」などと、一つ一つふり返る時期です。そうすると、できるようになったことと、次に頑張る目標がはっきりしてきます。このことが大事なのです。そこから次の・来年の目標が見えてきます。

今、来年と言いましたが、今週・来週・再来週で今年が終わります。先生が、子どもの頃、担任の先生から「西向く侍、小の月」という言葉を教わりました。「二・四・六・九・十一」（十一を縦に書くと武士の士になるので「侍」と言っています）の月の日数について思い出してください。2月は28日までであり、4年に1度閏年で29日まであります。4月・6月・9月・11月は30日までです。つまり、これらの月は、「31日ない月」という覚え方の言葉です。これ以外の月は31日まであるので、12月は31日まであります。月の終わりを「晦日」と言いますが、12月31日は「今年最後の日」という特別の日なので「大晦日」と言います。

1年の最後の日には、全国のお寺で鐘が鳴らされます。「除夜の鐘」といって「108回」鳴らされます。

これは、仏教思想に基づいているもので、108の煩惱「心を惑わし、身を悩ませるもの」を、鐘をつくことで、一つ一つ取り除いて、清らかな心でお正月を迎えようというわけです。

今年をふり返って、良くなかったことを反省し、心の整理をし、清らかな気持ちで新しい年を迎えようとする人の気持ちは、今も昔も同じですね。

さあ、しっかりと「ふり返り」をして、気持ちよく「終業式」そして「新年」を迎えましょう。